

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103755
法人名	(有)三光資産
事業所名	2階
所在地	松山市南土居町131番地 1
自己評価作成日	平成22年9月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年10月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの性格や生活リズムを尊重し、利用者様が安心してのびのび生活できることを目標に、一人ひとりの希望や訴えを把握し、利用者の立場に立った支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、ご自宅での生活を事業所でも続けていけるようなサポートに力を入れておられ、利用者からの希望で、ご自宅で利用していたケーブルテレビを自室で見れるように手続きをされた。
4月の運営推進会議では、消防署の方の協力を得て夜間を想定した避難訓練が行われた。ユニット各1名の職員が実際に、利用者9名を避難させる訓練を行い、所要時間を測り「思っていたより時間を要した」ことで事業所では「協力者の必要性」を感じられたようである。地域の方には訓練の様子を見ていただき、今後は利用者の避難誘導や安全の見守りをお願いしたいと考えておられた。又、事業所では災害時に使用できるようにテントを準備されており、災害時には、地域の方にも事業所の駐車場等を避難場所として使っていただきたいと考えておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームさんこう

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 高田 直也

評価完了日

平成22年9月1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員で話し合い、利用者の自由で尊厳のある暮らしを支援する為の理念を作り実践している。また日々の仕事やミーティング時、理念に立ち戻り話し合いを行っている。	
			(外部評価) 事業所では「尊厳ある自由な関わりのある暮らし」と理念に掲げて、玄関に掲示されている。ミーティング時等にも理念に沿ってケアについての話し合いをされている。パンフレットには「介護の質」を考えます、と示し、利用者個別の支援に力を入れて取り組んでおられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 夏祭りや秋祭り等に利用者と共に参加している。散歩の際も職員自ら地域の方々へ声をかけ、利用者地域の方々との会話を促している。	
			(外部評価) 散歩時には、事業所の周りの田畑で農作業をされている方にあいさつされたり、夏には、近くの公園で行われる夏祭りに出かけて、盆踊りを見物したりかき氷を食べたりして楽しまれた。地方祭では、神輿や獅子舞が駐車場の来てくれて舞をみたり、神主の方にお祓いをしてもらった。亥の子等でも地域の子供たちが訪れている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 町内会への参加を行い、見学に来られた際等の相談対応も出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>実際に施設内を見て頂き、取組み状況等の報告を行 い意見の交換も出来ており、それらを日々活かして いる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>昨年度は年間5回の会議の開催であったが、今年度 は、6回の会議を開催することを目指しておられた。 管理者は、会議で「ホームの運営方針や運営状況・取 組みを報告して、ご意見をうかがいたい」と考えて おられた。又、「参加者にとって意義のある会議にし たい」と話しておられた。10月末に予定されている 会議には、医師を招き「認知症の予防」等のお話をし ていただくことを計画している途中であった。</p>	<p>会議は、概ね2ヶ月に1回の会議として、開催を計画的に すすめていかれてほしい。又、会議にご家族や利用 者の参加は難しいようだが、参加しやすいような 会議の工夫にも努めて、いろいろな立場の方に参加 いただけるよう取組まれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>様々な機関(松山市、町内会、地域包括センター等)と 連携し情報収集も出来ている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、介護保険制度について詳しく説明し てくださっている。地区のグループホームが集まる会 には、職員が出席して、他事業所と意見交換をし たり、今後は、各ホーム順番で事例発表等を行う予定 になっていた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>施錠や拘束をせず声かけや見守りを徹底して行い、利 用者に危険が無いように支援をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関に施錠はせず、ユニットの出入り口は、人の出入 りがあるとチャイムが鳴るようになっていた。事業所 は「利用者の自由」を大切にされており、利用者の行 動を止めることのないように気を付けてケアを実践さ れている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 講習会等に参加し、高齢者虐待についても日々スタッフ間で気をつけている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 定期的に行っているミーティングや勉強会を通して、制度について学ぶ機会をつくっており、必要に応じて活用支援出来ている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行い、理解・納得を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が意見を出しやすいような雰囲気作りを行い、気軽に意見や要望を頂いている。また速やかに検討を行い反映出来ている。 (外部評価) 管理者は、ご家族への連絡や報告は、ご家族のご事情やご都合に合わせて、来訪時お伝えしたり、手紙、電話等、それぞれの実情に合わせ、利用者の状態変化等、必要時に連絡をすることにされている。又、ご家族が来られ居室でご本人とお話をして帰る際には、「何か困ったことがありますか」と聞くようにされている。	事業所では、受診や終末期の支援等「ご家族の協力」の必要性を感じておられる。ご家族はそれぞれにご事情等もあり、事業所に来ることが難しいような方もあるようだが、事業所が力を入れて取り組んでいるようなことを具体的に伝えるような取り組みもされてみてはどうだろうか。外部評価結果や家族アンケートの集計表の報告や、運営推進会議に来られないご家族等にも会議の内容を知らせてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日頃から職員同士のコミュニケーションもとれており、活発に意見や提案を出し合い、より良い支援が出来るよう努めている。	
			(外部評価)	
			管理者は、外部研修の受講を毎月知らせ、職員自ら受講を希望できるような機会を作っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			定期的な会議にて それぞれの意見を出し合い、向上につなげている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			介護経験の豊かな職員が経験の少ない職員を指導し、一人ひとりのスキルアップを図っている。また、段階に応じて様々な外部研修の情報を提供し それぞれが受講している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			職員が同業者との交流会に参加し様々な意見を取り入れ、サービスの質の向上に役立てている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			不安無くホームに馴染んで頂けるように笑顔で穏やかな対応を心掛け、話しやすい雰囲気作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居までに何度か面談させて頂き、お話を聞かせて頂きながら説明を行い、納得・安心して頂けるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>様々なお話を聞かせて頂きながら相談内容を見極め対応している。また、多種機関のサービス提供や利用も出来ている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者と寄り添い、会話の中から昔の話や知恵を聞かせて頂いている。共に歌を唄ったり、季節を感じながら散歩をしたり一緒に活動する中で良い関係を築いている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様の日々の様子やエピソードを話させて頂き、共に喜んだり笑ったりする中で 安心や信頼を得ながら共に本人様を支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手紙のやりとりや面会外出、電話連絡にも対応できている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>友人が訪ねて来て、ご本人と居室でおしゃべりを楽しまれたり、県外にお住まいのご家族が年に数回ご本人を連れ出し温泉に出かけられたり、ご自宅に泊まって帰る方もある。又、電話の取り次ぎ等もサポートしておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が間に入り、アクティビティ等を通じて、利用者同士のコミュニケーションが取れるように支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 電話連絡や訪問等にて関係の継続に努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話を通じて希望を聞き出したり、ご家族様とのお話しの中から情報を得ている。表出困難な方は、表情や反応を見ながら思いを把握できるよう日々努めている。 (外部評価) 職員の気付きを書き留める「気づきノート」や「申し送りノート」「日々の介護記録」に利用者の言葉や利用者の対応を記入して、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。事業所では、ご自宅での生活を事業所でも続けていけるようなサポートに力を入れておられ、利用者からの希望で、ご自宅で利用していたケーブルテレビを自室で見れるように手続きをされた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サマリーやご家族様よりの生活情報歴を基に、生活リズムを出来る限り崩さないようにし、日々のご本人様との会話の中で新たな情報を引き出すよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の様子やバイタルチェック、会話の中で一人ひとりの心身状態を把握している。又、アクティビティを通して有する力を把握できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 必要関係者とは その時々話し合い、日々の関わりの中でご本人様やご家族様の希望を聞き取り、定期的な会議にて職員全員で意見交換を行った上で介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 介護計画書にはご家族が要望を書く欄を設けておられるが、ご家族は、来訪時や電話等、口頭で言ったださることが多いようである。ご家族によっては、郵送した計画書内に手書きでケアの希望等を書き込んでくださる方もある。計画は3ヵ月ごとに見直しをされ、その際にはカンファレンスを開き「気づきノート」や「申し送りノート」をもとに話し合い、計画に反映するようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個別の記録があり、必要に応じて細かく記録を取っている。気づきノートに書かれた内容を職員全員が目を通し活用している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 多種機関と連携し、必要に応じて かかりつけ医院への通院や送迎を行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 警察、消防等と連携し 安全を確保している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人様やご家族様の希望を重視し、かかりつけ医の 受診支援を行っている。また、かかりつけの歯科医に 必要に応じて訪問診療に来てもらっている。</p> <p>(外部評価) ご家族が利用者ご本人の受診に付き添えるような時 には、協力をお願いされている。又、ご家族の都合等 に合わせて職員が同行されている。調査訪問時には、 体調がすぐれない方がおられ、連携している訪問看護 事業所から看護師の方が来られて、点滴をされている 方もおられた。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 協力病院の定期的な往診や担当看護師のみの訪問も あり、健康管理や医療について気軽に相談させて頂 いている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 協力病院の受け入れがあり、治療方法の詳しい説明 や情報相談を受け早期退院に努めている。他病院であ っても同様に情報交換を行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時に事業所の方針を説明しご本人様やご家族様と 話し合い、方針を共有させて頂いている。また、ご本 人様やご家族様の気持ちを重視し、状態変化時には ご家族様と相談しながら支援を行っている。</p> <p>(外部評価) 事業所では、入居時やご本人に状態変化があり、必要 と感じる時に「ご家族の協力がいただければ、事業所 で最期まで支援できる」ことをご家族に伝えておられ る。持病のある方も多く「最期は病院で」と言われ るご家族が多いが、現在「ずっとここでお世話になり たい」と言われるご家族が1～2名おられるようだ。 ご家族が今後のことを心配される時には、「受け入れ てくれる病院等はホームで探します」と伝えるよう にされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急手当や初期対応について ミーティング等で身につけ、緊急対応のマニュアルが目につく所に設置してある。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) マニュアルを作成し 年に2回消防署と一緒に訓練を行い、避難路の確認や消火器の使い方の指導を受け全職員が身に付けている。	
			(外部評価) 4月の運営推進会議では、消防署の方の協力を得て夜間を想定した避難訓練が行われた。ユニット各1名の職員が実際に、利用者9名を避難させる訓練を行い、所要時間を測り「思っていたより時間を要した」ことで事業所では「協力者の必要性」を感じられたようである。地域の方には訓練の様子を見ていただき、今後は利用者の避難誘導や安全の見守りをお願いしたいと考えておられた。又、事業所では災害時に使用できるようにテントを準備されており、災害時には、地域の方にも事業所の駐車場等を避難場所として使っていただきたいと考えておられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊敬の念を持って言葉掛けや対応をしている。個人情報についても個人の記録に他者名書き込み必要な際はアルファベットにて表示している。	
			(外部評価) 職員は、「利用者と同じ目の高さ」で対応して、「待つ」ことを心がけておられる。管理者は「利用者に対して、指示や命令はしない」ことを職員に伝えておられる。女性利用者が男性職員の介助を嫌がるような場合は、女性職員が対応されている。又、利用者が着替えをされているような時には、入室しないように心がけておられる。	症状や状態も利用者一人ひとりに違いがあり、全職員が対応や声かけのスキルアップをすすめていかれてほしい。事業所は「介護の質」を大事にされており、職員の利用者へのかかわり方についても勉強を重ね、ケアの質向上を目指していかれてほしい。又、時には、運営推進会議時やご家族等にもご意見を聞いてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 常に話し易い雰囲気を作り、些細な事でも傾聴し迅速に対応している。表出の困難な方にも 分かる様に説明し、出来る限り自己決定出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の健康状態や様子により柔軟に対応している。また、一人ひとりのペースを大切に無理の無いように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に理容師に来て頂き散髪を行っている。希望にて衣類の買い物にも職員が同行している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る範囲で野菜の皮むき等お手伝いして頂いている。季節の食材を使ってメニュー作りを行い、ゆったりと食事を摂って頂いている。 (外部評価) 以前、配食業者から食材を取っていた時のメニューを参考にして、1週間分のメニューを職員で決めておられる。利用者からは「お好み焼き、カレー、餃子」等、食べたいものの希望があるので、採り入れながら献立を作っておられる。野菜は産直市で新鮮なものを購入されたり、時には利用者と買い物に行かれることもある。職員も利用者と同じものを食べておられ、食後には下膳されている利用者もみられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考え調理し必要に応じて刻みを加えている。また、水分も十分に摂って頂き、少ない場合は、おやつや食事以外でも飲み物を提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後 口腔ケアを行い、力に応じて介護支援出来ている。義歯の方は夜間お預かりし、洗浄剤使用にて清潔を保っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを掴み自然な声掛け誘導にて支援できている。	
			(外部評価) ご本人の状態にも合わせて、居室にポータブルトイレを置かずに、共用トイレまで行くことを支援されている方もある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分を十分に摂取し乳製品を摂る事で自然な排便を促している。また、適度な運動や腹部マッサージも行っている。必要な方には医師と連携し、内服薬などで対応している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 混乱を防ぐ為 曜日と時間を決めさせて頂いているが、入浴剤を使用し一人ひとりのお好きな時間の間ゆったりと湯船に浸かって頂いている。また、必要に応じて入浴日以外も清拭を行っている。	
			(外部評価) 一般浴槽で入浴が可能な方は月・木曜日、車いすを利用されており、1階の特別浴槽を利用する方は、火・土曜日と曜日を定め、午後からの入浴となっている。現在、利用者は入浴を嫌がる方が多く、日時を決めてお誘いする方が利用者の気がすすむようである。入浴がない日には、体を拭くようにされている。ご家族が来られて、温泉に年に数回行かれる方がいるが、現在は、利用者やご家族からの入浴についての希望は聞かれないようである。利用者の以前の入浴の習慣や好みについて、お聞きするような機会も作ってみてはどうだろうか。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者様それぞれの生活習慣や体調により 日中でも臥床し休んで頂いている。夜間も声掛けや常夜灯使用にて安眠して頂いている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬ファイルがあり職員全員が確認理解出来ている。内服変更時には申し送りを行い、症状の変化に十分に気をつけている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や会話から好きなことや出来ることを探し出し、一緒に楽しむ事で楽しみや張り合いを持って頂けている。テーブル拭きや洗濯物たたみ等、無理のない程度のお手伝いをする事で意欲的に生き生きと過ごされている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) お天気や体調を見ながら散歩や買い物に出かけている。歩行が難しい方には外気浴にて季節を感じて頂いている。 (外部評価) コスモスを見に出かけられたり、近くの公園まで散歩されたり、駐車場で日向ぼっこをされている。ご家族の希望で、病院の送迎でリハビリに通っておられる方が4名おられる。又、ご本人の希望で「信頼している医師」に診てもらいたとの希望があり、歯医者にお連れしたり、美容室でカットされる方にも付き添っておられる。職員は、利用者の希望等を聞きながら「外食や外出の機会を増やしたい」と話しておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を手元に持っておられる方も何人かおられ、トラブルの無いように見守り支援を行っている。出来る方には買い物の際にご自分で精算して頂くよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族様の都合にも合わせながら、希望される方には電話をして頂いたり 手紙を届けさせて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用スペースは広く取っており、常に通気性を良くし必要に応じてエアコンにて温度調節を行っている。また、行事や季節の写真を飾り 利用者様もそれらを楽しんで見ておられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>1階ユニットは、居間から庭に出ることができ、芝生で日向ぼっこをされる方もある。時には代表者の飼い犬を連れて来られて、ふれあいを楽しまれることもある。居間から台所の様子がよく見えて、カウンターには今日のメニューが示されており、見られる方もある。居間の一角にたたみコーナーがあり、利用者が足を伸ばして休まれたり、洗濯物をたたむスペースになっている。昼食後、テレビの前のソファに座って談笑する利用者の様子がうかがえた。利用者同士で囲碁を楽しまれることもある。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファやテーブルの配置を工夫し、利用者様がそれぞれにお好きな場所で過ごしておられる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れた物を持ち込んで頂き、ご本人様が安心して落ち着いて過ごせるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外出時や誕生日の写真が飾られていた。以前から続けている書道を、毎日居室でされている方がおられる。好きな小説や雑誌を居室で読まれる方もいる。お気に入りの整髪料を置いて、使用されている利用者もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>安全を配慮して手すりやポールの設置をし居室にはそれぞれ表札をつけている。混乱を防ぐ為にトイレの位置を文字で示し、自立して暮らせるよう支援している。</p>	